

TOWN'S STAR まちの人キラリ



第62回如月杯囲碁・将棋大会が2月11日、イコーゼで行われ、参加者24人が盤上で熱い戦いを繰り広げました。▶将棋一般の部Aクラス：優勝 佐藤隆雄、準優勝 佐藤忠成、第3位 佐藤一男▶Bクラス：優勝 渡辺恭央、準優勝 桐澤征司、第3位 氏家文男▶小中学生の部：優勝 中川雄太、準優勝 武藤有希、第3位 小幡優翔▶囲碁一般の部Aクラス：優勝 佐藤善利、準優勝 原田寛、第3位 幕田義男▶Bクラス：優勝 佐藤芳夫、準優勝 佐藤英司、第3位 佐藤利夫(敬称略)

図書だより 図書館「よも〜よ」 ☎582-5388

今月のおすすめ / 勝負の世界



一般書

■エヴァーグリーン・ゲーム
石井仁蔵：著(ポプラ社)

世界有数の頭脳スポーツでありながら日本では、まだ競技人口の少ないチェス。その魅力にとりつかれた、4人の若者たち。それぞれの事情を抱えながらも、彼らは己のすべてをかけて盤上の戦いに挑む。命懸けの勝負の行方は!? 第12回ポプラ社小説新人賞受賞作品です。



児童書

■絵で見て楽しい! はじめての相撲
西尾克洋：著 綴山瑛一：監修(すばる舎)

相撲は1000年以上の歴史がある、世界にほこる日本文化のひとつ。土俵の外に出るか、体の一部が地面に着いたら負けという、とてもシンプルなルールながら、勝つためにさまざまな技を使っており、知れば知るほど奥が深い。相撲の歴史や技、力士の一日や番付などを一から解説。相撲観戦がさらにおもしろくなります!

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

世界にひとつの作品 陶芸教室でモノづくりの楽しさを

成人講座「陶芸教室」が2月9日、イコーゼで行われ、参加者19人が粘土での作品づくりに取り組みました。

講師は、睦合地区にある「桃山房窯」の鈴木徹さん。絵皿やマグカップ、大きめの飾り皿など、日常使いできそうな器を思い思いに製作しました。大体の形が出来上がったら、3色の粘土や表面に凹凸の模様を付けるスタンプを使い、模様を付けて仕上げました。さまざまな道具とアイデアで表現の幅を広げ、世界にひとつだけの作品をつくりました。

毎年恒例の人気講座ということもあり、連続して参加している人も多く、互いにアドバイスをしながら、和気あいあいとモノづくりを楽しみました。作品は、鈴木さんの窯で丁寧に焼き上げ、3月ごろに完成する予定です。



INFORMATION

郡役所deワークショップ 御朱印帳づくり



郡役所deワークショップ「御朱印帳づくり」が2月3日から4日にかけて、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で行われ、2日間で16人が参加しました。今回は、前回好評だった「御朱印帳づくり」の第2弾として開催。町内外からの参加者は作成キットを使い、持参したお気に入りの布を貼り付け、オリジナルの御朱印帳を作成しました。

今後も多数企画を行いますので、ぜひご参加ください。

マルベリーこおり 図事務局 ☎582-3129

ゲレンデに歓声響く
みんなで楽しく上達「基礎スキー教室」



マルベリーこおり主催のスキー教室が1月27日を皮切りに全3回、みやぎ蔵王白石スキー場で行われ、のべ73人が参加しました。今シーズンは、暖冬による雪不足で開催が心配されましたが、開催日近くに積雪があり、無事実施することができました。一人一人のレベルに合わせて、MZ白石スノースポーツスクール講師やクラブスタッフから指導を受けながら、思う存分にスキーを楽しみました。回を重ねるごとに上達し、「もっと滑りたい」「友達と一緒に滑れて楽しかった」との好評の声も多くありました。



親子で学ぶ おこづかい教室

クリスマスや正月でおこづかいが増える時期に合わせて、オープンキッズスクール「おこづかい教育出前教室」が1月28日、イコーゼで行われ、8家族21人が参加しました。ジブラルタ生命の安藤明美さんを講師に招き、「おこづかい管理はどうしている?」「家事の手伝いをした時におこづかいを渡している?」「良い成績がとれた時のご褒美は?」など、各家庭の状況を聞きながら、今後の生活に活かせるよう、親子で共に金銭の使い方について考えました。



冬の運動不足解消 ポッチャ大会

公民館長杯新春ポッチャ大会が1月29日、イコーゼで行われました。参加者36人は3人ずつのチームになり、ABC各コート4チームのリーグ戦で戦いました。

ポッチャは目標の白い玉に自分たちの玉をいかに近づけるかがポイントの競技。「上手、上手」「おいしい」などとチーム内外からの声掛けに奮起したり励まされたりしながら、初心者も経験者も和気あいあいと競技しました。家にこもりがちな冬に、楽しく笑っていい汗をかけた大会となりました。



願いを込めて 節分飾りを作ろう

成人講座「節分飾りを作ろう」が1月26日、イコーゼで行われました。まずは、台になる板の形と鯛・豆・柊、色とりどりの和紙のパーツを選びます。次に、材料の貼り付け作業。材料の組み合わせや向きはどうするか、じっくりと考えながら配置しました。最後に、「無病息災」「五穀豊穡」「心願成就」などの願い事を書いた短冊を貼り付けて、自分だけの節分飾りを完成。たなごころの羽田稔さんから節分にまつわる話も聞き、参加者は笑顔いっぱいでした。